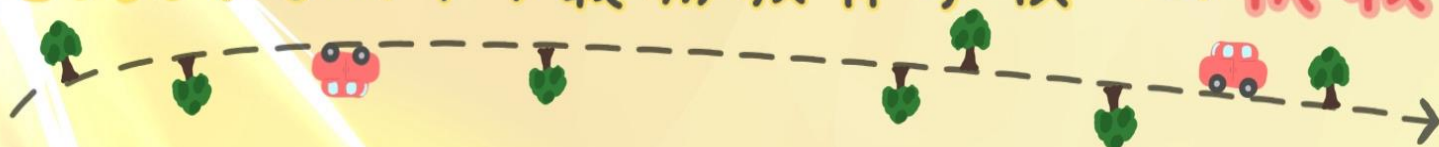


町制70周年記念 「これからの学校をみんなで作ろう！」

山ノ内町学校づくりシンポジウム

2030やまのうち義務教育学校への挑戦



11.16 (日)

📍 会場：山ノ内町文化センター

山ノ内町平穏4015-1

時間：13:30～16:30

参加費：無料

申込み：下のQRコードより

〆 切：11月9日(日)

第1部 座談会

「未来の学校を語る」

信州大学学術研究院教育学系教授
文部科学省CSマイスター
長野県教育委員 CSアドバイザー

伏木久始 氏
猿渡智衛 氏
伴美佐子 氏



第2部 パネルディスカッション

「山ノ内だからできる 未来の学校への期待」

講演を行う3名に加えて
町内学校の校長、保育園保護者
山ノ内町で学ぶ生徒も登壇予定!

第3部 意見交換

参加者同士でおしゃべり

山ノ内町教育委員会子ども未来課

TEL：0269-33-1102

Mail：gakko@town.yamanouchi.lg.jp

託児あり!
子ども同伴OK!

託児希望についても
QRコードよりお願いします。



主催：山ノ内町教育委員会 協力：山ノ内町立学校づくり準備委員会

座談会 スピーカー

こどもも大人もチャレンジャー



伏木 久始 (Fusegi Hisashi) (信州大学学術研究院教育学系教授 博士-教育学)
東京都内で心理相談員、中高一貫校教諭を経験後に大学院博士課程に進学し、学位取得後に大学附属小学校教諭として総合学習の実践に打ち込む。40歳の時に信州大学教育学部に転勤。以後、国内外の学校改革の指導講師&伴走者として東奔西走中。文科省中教審教育課程専門員、長野県教育委員会教育長職務代理者、フィンランド国立教育研究所研究員など歴任した。現在はNITS信州大学センターの運営を兼ねながら、人口減少問題に悩む過疎地域の学校づくり支援に尽力している。

猿渡 智衛 (Saruwatari Tomoe) (文部科学省 CS マイスター)

昨年度まで原発事故被災地の福島県楡葉町で指導主事 兼 地域学校協働センター長を務める。過去には文科省で地域学校協働推進室と放課後子ども総合プラン連携推進室に所属し、地域学校協働活動と放課後子供教室の推進に従事するとともに、学校・地域連携協働推進プロジェクトチームにも所属し、連携支援係長として被災三県における復興教育の推進にも従事した。文部科学省総合教育政策局のCSマイスターとして、主に福島、石川、長野を担当し、能登半島地震からの教育活動を通じた地域コミュニティの復興も担当する。



伴 美佐子 (Ban Misako) (長野県教育委員 長野県 CS アドバイザー)

上田市塩田公民館の社会教育指導員を務めた経験から、「地域と学校の連携・協働」にかかわる活動に取り組む。現在は長野県教育委員会 CS アドバイザーとしても活動し、県内はもとより多くの学校や地域で研修会講師を務める。上田市立北小学校のCS地域コーディネーターとして「日本一幸せな学校」を地域と子どもたちと先生方とつくりたいと日々奮闘している。



パネルディスカッション パネリスト

町内学校の校長先生

町内保育園の保護者

町内学校の生徒 と 3名のスピーカーが登壇予定



パネルディスカッション モデレーター

竹内 延彦 (Takeuchi Nobuhiko) (山ノ内町教育長)



こども一人ひとりが自らの興味関心をワクワクしながら楽しく深めることのできる学び

○新しい学校の基本情報

- (1) 9年間の学びの連続性や一貫性が伴った「義務教育学校」による学校統合
- (2) 地域コミュニティと学校が一体となった「コミュニティ・スクール」の構築
- (3) 設置場所 山ノ内中学校敷地
- (4) 開校時期 令和12年4月 (現小学校4年生が新しい学校の最高学年になります)



500人を超える6歳から15歳の山ノ内町の子どもたちが、町内全域から『ひとつの学校』に通う姿をイメージしてください。また、そのすべての子どもたちが、学年や地域の枠を超えて共に育ちあい学びあう姿をイメージしてください。…あなたはワクワクしませんか!?